



さよなら1975年



(写真) 凍てつくような十三湖の夕暮れ

この一年を振り返って

今年も余すところあと数日。この一年間を振り返り、一九七五年のしめくりとしよう。

1月 ◇交通死亡事故ゼロ千日突破、県知事表彰。

十五日現在で死亡事故ゼロ千二百四十三日を記録、知事表彰を受彰。

2月 ◇丸山東保子さん（太田小六年）第39回商工会珠算検定試験一級に合格。本村の小学生では初めての合格者。

3月 ◇津軽国定公園八年ごしに指定。三十一日付けで告示、正式にスタート。

4月 ◇白川治三郎村長期待をあつめて再選。

◇第2文章九（二五九トシ）遭難、座礁。消防団の活躍で乗組員無事救助。

5月 ◇消防署に救急車配備される。

◇村史資料編上巻発刊。

◇十三小校庭、教員住宅五戸完成。

6月 ◇三重賞助役再任。

7月 ◇商工会青年部十三湖畔の清掃奉仕。

8月 ◇金木高相内分校剣道部が高体連（定時制）全国大会に出場。

◇成田ミエさん（54）元気で中国へ帰国。

三十七年ぶりに中国から里帰りしているが、六ヶ月の滞在を終えて帰国。

◇集中豪雨の被害続出。

弘前市を中心に襲った二十日の集中豪雨は十三湖に大量のゴミを運び、漁業など約三千五百万円の被害を与えた。

◇市浦中の扇ネブタ村を練り歩く。村では初めての運行。寄付金五万三千円百八十円は恵れない人たちにプレゼント。

9月 ◇交通死亡事故ゼロ千五百日を達成。

二十九日で千五百日を記録、西北五初の快記録を樹立した。

◇市浦牛「特選肉」にランク。本村から出荷された牛が大飯食肉市場で特選肉にランク。昨年に続く快挙に飼育農家は一層の自信を深める。

10月 ◇国勢調査実施。前回調査より三百五十四人減る。これで三十五年調査以来、千三百九十三人減少。依然として過疎化の現象続く。

◇電話自動化される。十五日午後二時からダイヤル式電話となり、局名も「市浦局」と変わった。

11月 ◇十三湖大クリン作戦展開。のべ百八十隻の漁船を動員、湖底を大清掃した。

◇診療所待望の着工。消防署南側に建設。来年三月末完成の予定。

12月 ◇工業統計調査で村が通産大臣表彰を受彰。

投票日は一月十四日です

■村議会議員選挙

市浦村議会議員の選挙は一月七日告示、十四日
が投票日に決まりました。
この選挙はわたくしたちのいちばん身近なもので、
のだけに、日増しにあわだかぬことと思わ
れます。

一月七日から、投票日の
前日の十三日まで七日間、
期間が短かいだけに、行き
過ぎた運動がないように、
わたくしたちみんなが注目
したいものです。

ところで一月十四日の投
票日を前にして、一週間前
の七日に選挙の告示が行わ
れ、その日から二日間、午
前八時三十分から午後五時
まで立候補届け出および立
候補の辞退受け付けがなさ
れます。

ですから七日からいつせ

いに選挙戦の火ぶたが切つ
て落されるわけです。
短かい選
挙の期間
これらの選挙は、国会や
県会議員の選挙などにくら
べて運動期間の短かいのが
特徴。

交通死亡事故ゼロ

1,587日

(25日現在)

村ぐるみの交通安全運動が実を結
び、9月29日で待望の死亡事故ゼロ
1,500日を達成、西北五地方では初
の快記録を樹立しましたが、12月25
日現在でひき続き 1,587日目を迎え
ました。

年の瀬はとかく忙しい気持ちに追
われがちです。ちょっとした交通渋
滞に出合ってもすぐイライラしたり、
なんとなしにあって、スピードを出
したり、無理な運転をしてしまう
が、この季節です。

事故をなくして明るく楽しいお正
月を迎えるためにも、年末は注意深
い運転を心がけ、事故死ゼロの記録
をのばしたいものです。

1,587日の記録は現在、県内では
第5位にランクされています。

遠い先の話ですが、2,000日は52
年2月11日です。

投票所と投票時間

第1投票所	相内	小学	校
第2投票所	太田	学小	学館
第3投票所	脇元	公民	館
第4投票所	脇三	公民	館
投票時間	午前7時	午後6時	

年末年始の交通安全

ぜったいにやめよう 飲酒運転



一杯ぐらいは……という気持が事故に……

交通事故は、いまや大
きな社会問題、とくに
あわだかぬ年末年始
には、急増するのの特
徴です。せつ盗などの
一般犯罪にくらべて交
通事故に対する罪悪感
がうすいのも多発の一
因です。

とくに運転者や歩行
者の自覚がのぞまれる
ところでは、
酒を飲む
機会が増える
年末年始はどうしても気
をゆるして飲酒運転をする
機会が多くなります。
運転する人は「一杯ぐら
いいいじゃないか」と、い
う気のゆるみがおきてきま
す。この気持を強く意識

して気をつけなければい
けません。飲酒したあとでの
運転というのは、少しアル
コールがまわってきている
時の方が恐い結果を招き
ます。「少しぐらいなら大
丈夫だろう」と考えがちに
なるからです。
この精神状態が恐ろしい
のです。

いつもなら十分注意深い
運転者まで、アルコールの
影響は、注意力を散漫にさ
せ、思慮深い正確な判断を
忘れさせたり、自分では気
がつかないうちに不覚の運
転をしてみましょうです。
このため思わぬところで
運転ミスをして事故発生の
確率はきわめて高くなります。
酒をすすめた
人も罪になる

悲しいことは運転者たち
が、こんなことに気がつ
いていないことです。飲酒に
よる運転が、酒気帯びの状
態でもきびしく取締られる
のはこのためです。
また、これから運転する
かも知れない人に、酒をす
すめたりしては、問せられる
ことぐらいいは、たとえ運転
をしない人でも、常識とし
て知っておきたいものです。



お知らせ

重要な書類です。なるべく本人の手で請求するようにしてください。

役場の年末勧告は27日まで

年の瀬はなにかとあわただしいもの。印鑑証明や戸籍簿・抄本の請求や納税する人などで役場を訪れる人が増えます。

工業統計調査にご協力を

十二月三十一日現在で製造業の調査が行われます。これは通産省が統計法にもとづいて行う工業統計調査です。

税金など申告者の不利益になるようなことは絶対ありません。調査員が訪問のときは、よろしくご協力ください。

印かん証明書は本人の手で請求を

印かん証明書をよその人に請求させるとは、委任状に二人の保証人が必要です。また、保証人の印かんは実印を使ってください。印かん証明書は、家督相続や金銭貸借等に使用される

農業用軽油免稅の申請を

昭和五十年に使用する農業用免稅軽油の申請受けつけ日はつぎのとおりです。▽受付期日一月三十一日まで

▽受付場所―五所川原農務事務所

中星の特養ホームで看護婦募集

中里町にある特別養護老人ホーム「静和園」でつきにより看護婦(寮母業務)を募集しています。

資格 看護婦(准看護もふくむ)の資格があり、通勤できる二十五才以下のかた。〇しめ切り 一月二十日 〇試験日 二月四日、青森

市で(場所は追って通知) 〇試験科目 教養試験、適正検査、性格検査、作文面接試験。

くわしいことは「静和園」へ(電話〇一七三五一〇三二〇一番)

申請に必要な諸用紙は農協、石油製品販売店にあります。

〇免稅証の郵送料として二〇〇円の切手をおえて、農協または石油販売店を経由して申請してください。

〇受けつけ期日は、農務事務所受けつけ期日です。それから、それ以前に届協または石油販売店へ申請書類を提出してください。

除雪作業にご協力を

一路上駐車はしないように



いつものところ除雪量は少なくて、しるきやすい冬を過せるような気もしますが、いつ、大雪になるか予想がつきません。そこで村でも除雪対策を立てていますが、除雪はなんといっても村民のみならぬの協力によって除雪機械の能力をフルに発揮した除雪作業ができます。

- (1)除雪作業は、交通量の少ない早期に行われますので路上駐車は絶対しないでください。
(2)除雪車は右側走行しながら除雪作業を行う場合があり、黄色回転灯が点灯した除雪車を見た後徐行してください。
(3)車道に歩道の雪を捨てないでください。
(4)除雪後の道路には雪をかきあげないでください。
(5)除雪車が作業中の場合は三メートル以内で近寄らないでください。

声 困る犬の放し飼い

最近、夜間に犬を放し飼いはする人が多く、ひと晩中ほえるので、うるさく人が見えないか知らず、夜は人が歩いていられないからと思つて気安く放すので、いっている犬がけしかられていっしょになつてさわぐこともあります。安眠をまたげられないよう、愛犬家のご一考はかっています。

困る犬の放し飼いのために、犬の所有者はけい留、収容など適当な方法で人畜に危害を加えないよう管理しなければなりません。五所川原保健所でも野犬や放流犬の激増をふせぐため、ひんばんに野犬狩りをやっています。登録をしなければならず、鑑札を犬につけなければならない。それに予防注射を受けなかつたり注射済み票をつけなかつたり社会生活の上での安全をはかっています。

相内・主婦(46)



いま申し込めば 三月末までに架設

電話の架設はこれまで、申し込んでから数年かかりましたが、十月からの自動化によって、いま申し込めますと、おおむね来年の三月ごろまでには架設されます。

申し込みの方法

▼電話または電話局の窓口で申し込んでください。
▼申し込みの時は自宅の一番近くの電話柱の線路名、電柱番号をお知らせください。

区別	債券額	設備料	加入料
単独	十二万円	五万円	三〇〇円
共同	五万円	三万円	三〇〇円

架設に要する費用

電話の小泊局

電話は小泊局(01-7364) (01-7364) 電話局の場所は小泊温泉のすぐ近くです。

電話のかけ誤りをなくしよう

最近、電話ダイヤルのかけ誤りが多く、料金と時間をムダにしています。正しくダイヤルを、小泊電報電話局では、利用者のみなさんへこう呼びかけています。

市浦局管内の電話は、十月に自動化され、現在の上台に達し、今月末までに架設される九十三台をふくめると九百三十三台になります。

ところが、ダイヤルをかけるのにミスが多く、ムダな通話料をとられるのもしばしばです。

これをふせぐには、つぎのことに気をつけたいものです。
▼市外局番と電話番号をメモしておいて、それを見ながらダイヤルを回す。

▼回わしはじめたら、休まずに続けてダイヤルをする。
▼回わしてから早く元に戻るようにオシモーションしない。

▼話七は要領よく簡単に、先方が話し中のときは、しばらく待ってダイヤルする。

電話番号表をお求めください

商工会青年部では、電話の自動化にもなつて新しい電話番号一覧表を作成しました。この電話番号一覧表は村内の全加入者を掲載五十音順に並べ見やすくしています。

頭領は三百円です。近く会員が毎戸を訪問して頒布しますが、商工会でも頒布します。お申し込みください。(電話二三三三番)

使用に合せて適正配線を

ブレーカーが働いたり、安全器が熱いなど電気に異常があるのは、配線が適正でないのですから、太い電線に張り替えるか、回路(電気の通る路)を増やすか、仮配線の改修、コンセントの増設等、電気の使用に見合った適正な設備にすることがぜひ必要です。

ラジオと電灯のみであった十年前と同じ配線状態のままの家庭では、故障が起り不便なばかりでなく、これをなおさないで危険です。電化器具が増えてかえって危険で不便となつては、文化生活とはいえません。



豆ちしき

人間は五感のすべてを総動員して食事をとりますが、なかでも、姿と色彩を楽しむ視覚、においを楽しむ臭覚、舌の上で味わう味覚の三つは欠かせない要素です。

味覚を生かす適温は

その中でも味覚は適当な温度時に味わうのが一番効果的です。
おもなものの適温はつぎのとおりです。
ビール 6〜10℃ ■サイ 0〜5℃ ■玉露の酒、65℃

■湯加減 50〜53℃ ■飲み加減 48〜50℃ ■煎茶の湯加減 80℃ ■飲み加減 65℃
■紅茶・コーヒー、湯加減 80〜100℃
■すまし汁 80℃
■みそ汁、80〜95℃
■酒のかん、50〜60℃
■揚げもの、13〜20℃ ■甘酒、65℃

簡素な服装で気軽に参加を

成人式は一月十五日児童館で

成人式は一月十五日午前十時から、相内児童館で行います。
 該当者は昭和三十年一月十六日から昭和三十一年一月十五日までに生れたかたです。

本村では男女合せて五十人か該当しています。
 教育委員会でさしあげますが、名簿からまわっているかたがありましたら、すぐご連絡ください。

成人者名簿

(カッコ内は世帯主)
 相内・桂川・太田 (男12・女11)

三浦 国夫(助夫)
 佐藤 津江(金作)
 猿賀明美(佐々木由太郎)
 藤田 学(さき)
 上野 晴子(伊仁治)



成人式
 身を飾る
 より
 心を飾ろう



- 十三 (男6・女4)
- 小山内 利昭(少一)
 - 本荘 博(米谷幸治)
 - 工藤 朗(嘉四蔵)
 - 浦田 文夫(はな)
 - 三橋 高美子(嘉太郎)
 - 豊島 正義(正明)
 - 奈良 広樹(滝雄)
 - 相川 ゆう子(賢次郎)
 - 中井 睦子(広光)

- 秦 幸彦(義雄)
- 佐藤 智儀雄(武智雄)
- 田中 一二(廣田雄)
- 佐々木 仁志(本人)
- 三浦 政男(重五郎)
- 久慈 麻利子(鉄栄)
- 伊藤 照江(博)
- 小寺 美枝子(由太郎)
- 佐々木 栄枝子(由松)
- 秋田谷 忠雄(勝美)
- 秋田谷 蔵雄(重蔵)
- 秋田谷 幸男(正義)
- 土岐 繁子(ミソエ)
- 奈良 百合子(長市)
- 木村 智子(清左衛門)
- 古川 明美(廣志)
- 武田 秀機(忠次郎)



横山貞男さん 49

〇〇今月の人

「車はなんとしても余ゆうのある運転が必要だ。また、曲り角には何かがあることを忘れてはいけないし、大丈夫だろうという見込み運転がいばん危険です。」
 さりげなく運転の要を抑えるあたり、さすがにベテラン運転者の貫録がにじみでています。
 横山さんは三十二年十一月、運転免許証を取得。いらい二十八年間無事故無違反の優良運転者として、このほど全国交通安全優良運転手として交通安全賞(銀十字勲章)を受賞した。

余ゆうのある運転が大切

全協会長から交通安全賞章を受章しました。
 十七年今別営林署に入り、森林鉄道の保線作業や機関車の助手をしたあと、三十一年に市浦営林署に移り、三十八年に専任の運転手となりました。
 おもにマイアロバスの運転をしていますが、現場作業員を乗せて毎日六十キロ以上はハンドルを握ります。
 毎朝七時には車の点検をするという横山さんは、「安全運転に欠かすことができないのは、始動前の点検です。車の故障は毎日の点検であるといひ防げるのは一もいいます。
 十一月七日に青森市で行われた表彰式では、内助の功があった妻のヒサエさんにも県交通安全協会会長から感謝状が贈られました。
 横笛がうまうまく、虫送りやお山参詣など祭りには欠かせない人です。
 東郡今別町大川平の出身。

- 浜田 優子(春土)
- 工藤 恭樹(孫一)
- 脇元・磯松(男12・女9)
- 竹谷 信郎(嘉太郎)
- 佐藤 れい子(孝一)
- 石沢 敏廣(清栄)
- 三和 弘子(喜代美)
- 榑引 慎一郎(岩蔵)
- 石岡 由美子(強一)
- 外崎 勇三(繁造)
- 黒川 千賀子(松之進)
- 工藤 広貞(三)
- 山田 仰子(実一)
- 榑引 松夫(吉蔵)
- 和田 博伸(千代美)
- 成田 美代子(清一)
- 小寺 美恵子(繁則)
- 木谷 義仁(正作)
- 長村 秋子(正男)
- 和島 誠一(貞一)
- 田中 勝子(義雄)

文芸



短歌

臨元 桑野 ミナ

俳句

臨元 西 とおる

雪のんのん牛の嘘のやさしさに
海荒む岬も冬の彩となる
冬の浪嶺の左右より結ぶ
雪だるま小さき掌のあとやや崩れ

川柳

十三 浜野 太兵衛

値上りは禁酒禁煙させてくれ
村隣選火花散らして過疎の村

○十三の浜野さん、本名をお知らせください。

あんなに限りない優しさで微笑で一人社会人としてお前は
もう行ってしまった
今はただお前の便り待っている母も故郷のなつかしさを
つたえるよ
金婚を祝ってくれると縁は昔う一家和合で生きろ楽しみ
ひたすらに拝む心はみ仏の阿弥陀にすがる日々のお勤め
今日もまた何事もなく過したり胸に掌をあて明日を思う

太田 きむら よきこ

霜降れば淡く恥らう山脈のふもとの柿の赤く爽りて
昨日までにぎわいの海影もなく磯釣りに舟に冬のおとずれ
出稼ぎの夫を送りし朝なれば雪きまして重き足どり

桂川 伊東 邦子

税のはなし

1. 自動車税を納めたとき、その「納税証明書」は車検のさい必要ですから、常に検査証と一緒に保管してください。
2. 登録住所と現住所が変わったときは、速やかに検査証の住所変更手続をとってください。

自動車税と納税証明書について

3. 自動車をもたなくなったときは譲った人へ「移転登録」をしてください。また、廃車したときも必ず「まつ消登録」をしてください。この手続をしないでおくと、その後、いつまでもあなたに課税され、納めなければなりません。
4. 「したどり車」に出したり、他人に「まつ消」を依頼したときは、陸運事務所の登録を確認してください。
5. 「まつ消登録」には検査証とナンバープレートが必要ですから必ず保管を忘れないでください。以上、自動車をお持ちの方は上記についてご注意ください。

なお、手続は本人自身で行うのが立前ですがあなたに代って、手続が相談に
応じてくれるところは、管内では「西北五
家用車協会」電話、五所川原5局2854番、住
所は五所川原市大字湊字船越332-1 があり
ます。

連載

★村民ひろのぼ★

体で覚える子に

臨元小教諭 坂本善隆さん 叻

地球がせまくなったということばをよく耳にします。

それはとりもなおさず、情報化時代の到来によるものでしょうが、子どもたちも高学年になるとものごとをえらぶ方が批判的になり、表現力も豊かになります。ちょっとした豆評論家という感じさえあります。



夏休み前、全校で朝顔の種を植えましたが、それを観察する真剣な眼差しは、他を寄せつけない強い圧迫を感じます。子どもたちこういう機会をできるだけ与えたいと思います。

無火災の記録をのぼそう

消防署・消防士長 三上光治さん 叻

消防署は火災を消すことはもちろんですが、その前に火事を出さないのも大きな仕事です。昔の薪からガソリン、灯油、LPガス等がこの家庭でもまわりには危険物が置かれています。これらは一瞬間違えば生命、財産までも失う結果になります。器具の正しい使い方やまわりの点検を今年も実施していますが、九月からの四百六十五日の無火災記録をさ



らにのぼすためにも、日ごろの火気の取扱には十分気をくばってくださいるよう、村民のみなさんのご協力をお願いします。

ほくとわたしの作品
十三小学校



二年 秋田谷一英



一年 わかやまかおる

研究発表
六年 湯浅龍子

六年 湯浅龍子

上方向
四年 浜田隆士

四年 浜田隆士

みか
三年 清野貴文

三年 清野貴文

清野君：元気があり、のびのびと書かれています。
浜田君：筆のつかい方も基本を守りよくできました。
湯浅君：基本に忠実で書も整ってよくできました。
わかやま君：遊んでいるようすが子どもらしくのびのびしていますが、子どもの動きや顔の表情などにも少し工夫がはまっています。
秋田谷君：一人一人の顔の表情がとてもユーモラスで見ていて楽しくなります。
(指導は清野隆夫教師です)

こども こども

作文

白鳥観察

十三小五年 清野 篤

今日は白鳥観察、きびしい東風の強風。ぼくは、きびしい風をうけ、はりきって観察に出かける。前湖を通る。ぼくは、前湖を通ると、昨年のことを、思い浮かべる。
昨年は、ぼくに白鳥がなつき、赤いリンゴとおいしいパンを、手にもつてのべてやると、白鳥はここにこしながら長い首を前に出しておいしそうに食べてくれた。今年も、ぼくにあんなにもなついてくれた昨年の白鳥が来てくれた。昨年ぼくにあんなになついてくれた白鳥には、これといった印はないが、長い首に月のようになった黒い毛がはえていた。ぼくは、昨年の大きな白鳥を見つけたままで、きびしい東風の強風にも負けずに白鳥観察を続ける。大きな白鳥さん十三湖にたくさんのお友だちをつれてやってきてください。やさしいぼくたちがまっています。



私たちの学校が開校されたのが、明治六年八月、歴史の古い学校です。私の祖父が当時寺小屋をしてたのがそのまま引き継がれてきています。
十三小学校は百年余の歴史の中で、色々な思い出を綴りながら将来に向かって前進しています。
子どもたちと共に歩んで……
一歩一歩、大きな学校生活の中で、このように大きく育ってほしいです。
子どもたちが、いろいろなことを経験し、成長してほしいです。
私、長い教員生活の中で得たものと共に歩むんだという気持ちを持ち続けること、「和」の尊さでした。
一日一日の歩みの中で、楽しい思い出を綴って下さい。みんなの協力のもと、市浦の教育の発展を心からお祈りします。

三和兵司翁頌徳記念碑

相内北口の県道沿い西側に三和兵司翁頌徳記念碑が建っています。十数段の石階を連ね、うしろは松の緑が美しく広がっています。

三和翁は明治十二年四月、相内一六一番地に生れました。青年に達して現役兵として朝鮮に渡り憲兵を務めました。兵役後も朝鮮で過し、熱心なクリスチャンとしてクリスト教の伝道に務めたといわれます。

二十年、終戦とともに引揚げ、相内開拓農業協同組合設立に奔走し、献身的な努力を続けました。二十三年九月、自らが初代組合長となって開拓農協組合を設立されました。二百五十ヘクタールにおよぶ開拓地に外地からの引揚げ者が入植したのもこの時でした。

クリスト教精神に満ちた慈愛と堅い信念は、あらゆる困難を克服し、相内開拓農協組の父として農民から慕われました。

二十四年十二月九日、病氣のため死去、七十才。碑は三十年十一月九日、三浦鉄雄組合長、安保順三氏ら二十五人が相内開拓地跡に建立しました。



健康ひとくちメモ

暮れの健康
冬將軍が猛威をふるつています。寒いときの健康法は、睡眠と栄養をたっぷりとることが大切ですが、クマやカエルのよう、家の中でじっとしていいものでは、かえって低抗力を弱めます。天気の良い日には外に出て、思いきり手足をのばしましょう。心身ともにせわしい今日、たまにはのんびりと心と体をのばすチャンスをおくりください。

ヤケド
暖房器具を使う冬は、うすくてもヤケドをしやすいです。「アツイ」と思ったとることに患部を10分間以上水につけるのが効果的。あとはホウサン水かバリエール液でシブシブおけば大丈夫です。でも、皮膚がたれる程の症状なら、水につけたあと、清潔な布でシブシブしてお医者さんへかけつけてください。

そばのはなし
そば...と言えば、血圧

を上げるルチンが入っていることを思い出す方も多いでしょう。でも、よく調べてみると、思ったほど含まれてはおらず、しかもゆでるときに、ゆで汁に流れでるそうです。血圧を下げるという期待は持てそうにもありませんが、それでも良質のタンパク質やビタミンB₁・ビタミンB₆などが多いので、うどん・スパゲティよりはおすすめです。

戸籍の窓



- お誕生**
- 坂井 美香 (十三) 規
 - 俵谷 優吾 (脇元) 政明
 - 櫛引 伸和 (脇元) 雄二
 - 三和 忍 (相内) 兼人



- 二結婚**
- 大沢 徳也 (相内) 由勝
 - (一戸) 浩二 (弘前)
 - 小田桐由紀子 (脇元)
 - (外崎) 博 (脇元)
 - 中山百合子 (山梨)
 - 丁子谷 豊 (相内)
 - 宮川 昌子 (東京)
 - 桑野 修悦 (脇元)
 - 斉藤ふみ子 (青森)

おくやみ

- 大沢 徳也 (相内) 1才
- 大沢 ハル (相内) 65才
- 吉田すみ子 (相内) 45才
- 沢田寅之助 (磯松) 84才
- 斉藤 一美 (五所川原) 成田八重子 (脇元)
- 斉藤 一義 (脇元) 太田 秀子 (小泊)
- 木村 博 (太田)
- 三浦久美子 (相内)

編集室から



来年は...来年は...というつづけながら、なにか「あつという年の暮れ」となってしまう。寒さは、日一日ときびしくなり、官庁や会社では三月が年度末ですが、私たちの生活感覚から受ける感じは、むしろ、この十二月が年度の区切り、なっています。

広報も今月で百十号を過ぎ、ゴロ合せのよい号数になりました。それにも毎月々が四苦八苦の連続で、定期発行日を守れないこともしばしばです。しかし、どうかか一年をしめくることができたのは、みなさんの大きなご協力があつたからだと思っています。どうもありがとうございます。来年もみんなに親しまれるよりよい紙面づくりにがんばりたいと思います。どうぞよいお年をお迎えください。